

※申請内容によっては異なる部門での審査となる場合があります。その際は、あらためて当該部門の申請書の提出を求める場合があります。

2023年度 龍谷大学学生活動支援制度
「龍谷チャレンジ」申請書

ふりがな りゅうこくちゃれんじ しゃかいれんけい ぷろじえくと

申請事業名： 龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト (新規 ・ 継続)

※前年度からの継続、またはこれまでに本制度の採択を受けたことのある事業は、「継続」に☑をつけてください。

「継続」の場合

過去の採択事業名： 龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト (直近の採択年度：2020年度)

申請金額： 75,000 円

※支援金は上限10万円です。採択となっても申請金額の満額が支払われない場合があります。

1. 申請者の概要

ふりがな 団体・グループ名	龍谷チャレンジ活動チーム			
代表者 (龍谷大学生)	所属学部・学科	学籍番号	氏名	
	●●●●●	0999999	(ふりがな) りゅうこく たろう 龍谷 太郎	
団体・グループについて	活動開始年月	2020年 4月 (活動年数 3年)		
	主な活動	社会連携に関するワークショップや講座の開催。		
	構成員 ※代表者以外	合計 10人		
		所属学部・学科	学籍番号	氏名
		●●●●●	0987654	深草 一郎
		●●●●●	0876543	深草 次郎
		●●●●●	0765432	深草 松子
		●●●●●	0654321	深草 梅子
		●●●●●	Z123456	瀬田 太郎
		●●●●●	Z234567	瀬田 三郎
●●●●●		Z345678	瀬田 花子	
●●●●●	Z456789	大宮 大助		
●●●●●	Z567890	大宮 華子		
※上記以外にメンバーがいる場合は別紙で添付してください。				
団体のWebサイト、SNS等 ※ある場合	https://withdragon.rec.seta.ryukoku.ac.jp/			
連絡先	担当者名	龍谷 太郎		
	電話番号	080-0000-00XX		
	E-Mail ※審査結果の通知先	Rec-k@mail.ryukoku.ac.jp		

※申請書記入例をポータルサイトに掲載していますので、参考にしてください。

2. 事業の概要

申請する事業名	龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト
事業の実施期間	2023年11月～2024年2月
主に事業を行う場所	龍谷大学深草町家キャンパス
SDGsの17の目標のうち、当てはまるものをチェック（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 目標1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 目標2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> 目標3 すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> 目標4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> 目標5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 目標6 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> 目標8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> 目標10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> 目標11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> 目標12 つくる責任つかう責任 <input type="checkbox"/> 目標13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> 目標14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> 目標15 陸の豊かさも守ろう <input type="checkbox"/> 目標16 平和と公正をすべての人に <input checked="" type="checkbox"/> 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう <input type="checkbox"/> 上記目標に該当しないが、社会をとりまく諸問題の解決、地域振興、社会貢献に寄与する取り組みである。
本事業の意義	社会連携に関する情報を得ることで、他の連携活動に活かすことができる
どのような目的で事業を実施するのか・事業の効果 <small>※ニーズの記載に当たっては、できる限り、地域等の関係機関から意見を聞いて記載してください。</small>	<p>《事業の目的》 社会連携に関するワークショップや講演を開催し、本学の学生や地域の方々に、社会連携活動を知ってもらい、それぞれの活動の更なる発展を目指す。</p> <p>《社会的ニーズ》 また、2022年度に当団体が実施したアンケート（https://...a/b/c...掲載）では、龍谷大学生や町家キャンパス周辺にお住いの地域の方から、「社会連携と言っても何をしたいかわからない。」「参考になる活動を知りたい。」という要望が多く寄せられた。</p> <p>《達成したい具体的成果》 ・オンライン講演会 1回（視聴人数各50名） ・対面型ワークショップ 1回（参加人数20名）</p>

<p style="text-align: center;">事業内容</p>	<p>【事業内容】 社会連携に関するワークショップ（対面・1回）と講演会（オンライン・1回）を開催し、その模様などをまとめた4つ折りパンフレットを作成する。 ワークショップでは「深草と食」をテーマに、深草町家キャンパスに地域の方々を招き、龍谷大学生と一緒に、深草名物“粕汁”の調理と試食を行う。 オンライン（Zoom）を利用した講演会は、テーマを「深草の過去と未来」として、NPO法人●●の代表〇〇氏の講演を予定している。 そして、これらの活動の模様をまとめた4つ折りパンフレットを作成し、参加できなかった方や社会に向けて、広く情報発信を行う。</p> <p>【事業実施に向けた連携団体や関係先との調整の状況】 <u>※必ず記載してください。</u></p> <p>深草直違橋VI丁目町内会 11月に開催するワークショップでの連携 NPO法人●● 代表〇〇氏 1月下旬（予定）に講演を依頼中<メール返信待ち></p> <p>【事業の実施スケジュール】</p> <p>11月前半 ワークショップ開催準備（スケジュール設定・役割確認） 11月 ワークショップ開催（11月11日予定） 11月後半 パンフレット原稿作成開始 1月 オンライン講演会実施（1月20日）、パンフレット校了 2月 パンフレット納品、配架</p>	
	<p>連携する団体とそれぞれの役割 【必須】</p>	<p style="text-align: center;">団体名</p> <p>深草直違橋VI丁目町内会</p> <p>NPO法人●●</p>
<p>これまで貴団体が地域等と連携して取り組んだ実績 ※ある場合は記入してください</p>		

3. 予算書

事業経費			
内容	支出予定額(A)	うち本支援金額	(支出予定額(A))の内訳
郵送費	3,360 円	3,360 円	84 円×40 通
印刷製本費	32,890 円	32,890 円	A4・4つ折りパンフレット 100 部
資料費	2,980 円	2,980 円	「伝わるパンフ作成法」
消耗品費	8,770 円	8,770 円	ワークショップ時の食材、使 い捨て容器等 (リスト別添)
謝礼金	30,000 円	30,000 円	オンライン講演会講師謝礼
保険料	2,000 円	2,000 円	ワークショップ時の参加者保 険料
合計	80,000 円	75,000 円	

収入額 ※龍谷チャレンジ支援金は含まない		
内容	収入予定額	内訳
ワークショップ参加費	5,000 円	250 円×20 名
合計	5,000 円	

○他の助成金を受給しているまたは申請している場合(予定を含む)は、助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)決定日(予定)を下表に必ず記入してください。

助成申請事業名	申請先(制度名称)	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)

○ “3ZERO Club” への参加を希望 する・しない。(どちらかにしてください)

以上